

岡山大学病院は、造血幹細胞移植推進拠点病院の事業として、造血幹細胞移植に携わる専門的な医療従事者、及び地域の医療従事者の育成を目的としたセミナー、実地研修を行っています。

厚生労働省 造血幹細胞移植医療体制整備事業

# 第1回 中国ブロック 造血細胞移植コーディネーター (HCTC) セミナー アンケート報告

2016/6/18 (土) 11:00~16:00 岡山大学 Junko Fukutake Hall

HCTC (Hematopoietic Cell Transplant Coordinator) って何? をテーマに、HCTCという職業、役割や活動についてのセミナーを開催いたしました。

参加者96名：うち内科医師3名 歯科医師1名 看護師50名 レシピエント移植コーディネーター3名 HCTC5名 薬剤師2名  
歯科衛生士3名 事務4名 骨髄バンク関係者21名 患者会など一般4名 (岡大含めて11施設参加)

岡山大学病院・造血幹細胞移植推進拠点病院

## 講演

11:00~12:10

「生体肝移植における家族の意思決定支援」ーレシピエント移植コーディネーターとしての関わりー  
東京大学医学部附属病院 臓器移植医療部 野尻 佳代 先生

12:30~13:30

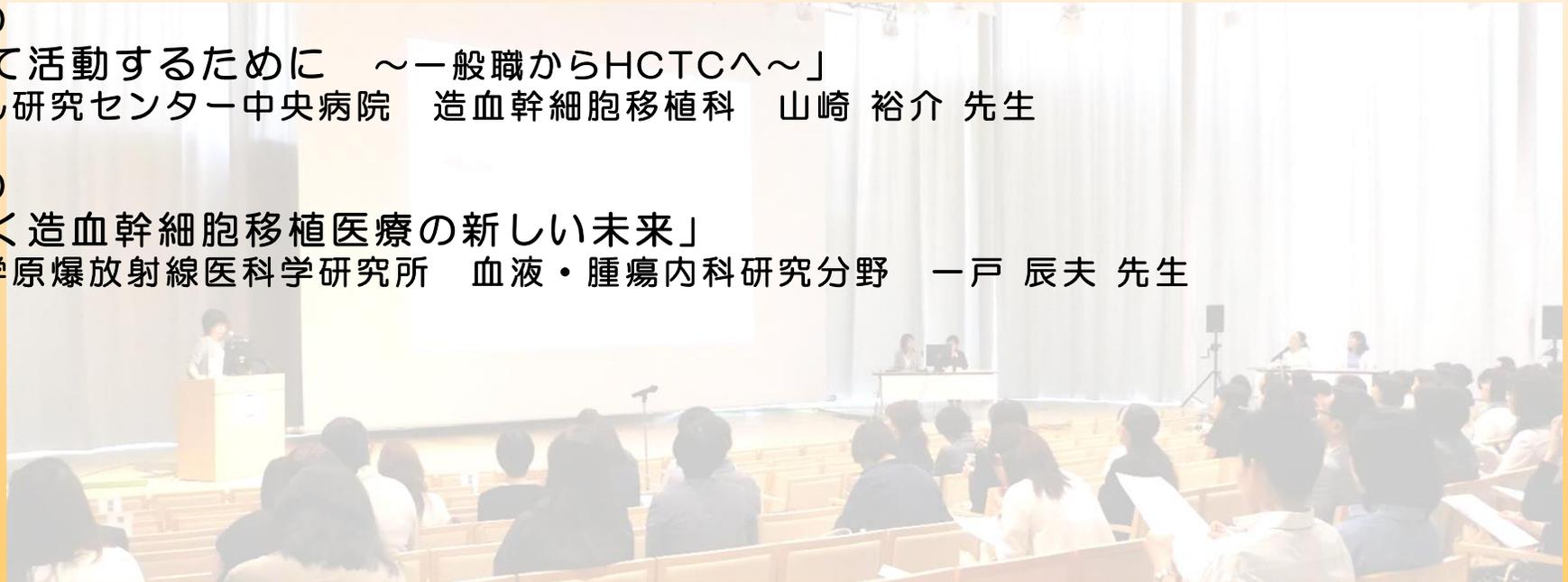
「骨髄バンクのコーディネートについて」  
公益財団法人日本骨髄バンク ドナーコーディネート部 坂田 薫代 先生

13:30~14:30

「HCTCとして活動するために ~一般職からHCTCへ~」  
国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科 山崎 裕介 先生

14:45~16:00

「HCTCが開く造血幹細胞移植医療の新しい未来」  
広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 一戸 辰夫 先生



## 第1回 HCTCセミナーの目的

「HCTCが何をする職種かわからない」「役割がわからず、関わり方に迷った」といった現場の声が多いのが実情です。HCTCのいる病院がまだ少ない中で、レシピエント主治医がドナー候補を探す ⇒ HLA検査を行う ⇒ ドナー健診をして適格性を判断するところまでを行っています。血縁ドナー擁護には、レシピエント主治医と切り離れた状態での擁護者が必要であり、HCTCはその役割をとれる職種として、今後も増員していくことが望まれます。

現在、HCTCの約半数は看護師で、それ以外は一般職も含めて医療従事者以外の方が占めています。また、HCTCが注目されてきてからの日はまだ浅く、造血細胞移植学会が本格的なバックアップを始めたのも、ここ数年の話です。教育プログラムもこれからであり、不安定な雇用の問題など、まだまだ協働していくことが困難であります。

そこでHCTCの認知度を高めるために、医師、看護師などの医療従事者、関心をもたれている方、また雇用に関わる病院事務方を対象としたセミナーを企画いたしました。

### HCTC導入に際してのポイント

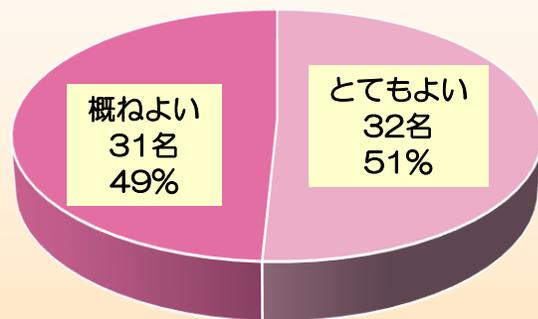
自施設のコーディネート体制において改善すべきポイントをしっかり把握しておく

他職種との領域、業務分けを明確におこなう

コーディネート体制作りにおいては自施設の特徴も十分考慮すること

# 第1回 HCTCセミナー アンケート報告 -セミナー全般について-

## プログラムの構成



アンケート回収率 67%



多方面職種の講演が聞けて勉強になった

4

時間的に集中しやすくてよかった。

2

HCTCの存在意義を知り、興味が湧いた

1

もう少し短い方がよかった

1

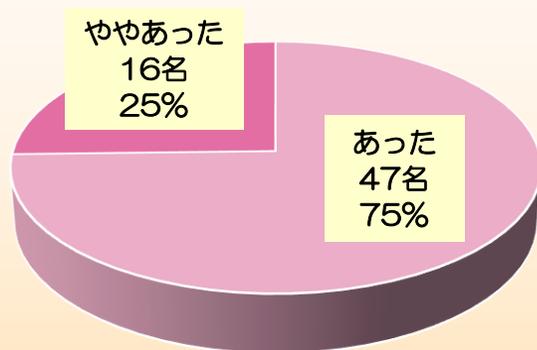
0 1 2 3 4 5

### 【とてもよい】

- たくさんの色々な魅力のあるお話しで、とても勉強になった。
- 様々な角度から説明があり、勉強になった。
- 今後も、多方面職種の方々などからの講演を拝聴したい。
- 休憩時間の配分もよかった。

# 第1回 HCTCセミナー アンケート報告 -セミナー全般について-

## セミナーの参加意義



## 【参加意義があった】

- HCTCが具体的にどのような活動をしているのか分からなかったので、役割や活動について勉強になり、理解できた。HCTCの方と関わる際に、参考になるセミナーだった。
- HCTCへの理解が今一歩不十分であったため、今回のセミナーで働きがよくわかった。
- HCTCの業務を理解し、連携していきたいという気持ちが強まった。まだまだ吸収すべきことが多い。
- 言葉では知っていたが、業務内容やいろいろな問題点などもよくわかった。多くのことを理解できた。
- コーディネーターの役割の重要性や、コーディネートの流れ、バンクのことがよくわかった。
- 自施設では、同種移植に取り組み始めたところであり、今後の動向など参考になった。
- 新規導入をするのに、基礎的理解が深まった。

HCTCの役割や活動、問題点を理解し、重要性を知ることができた

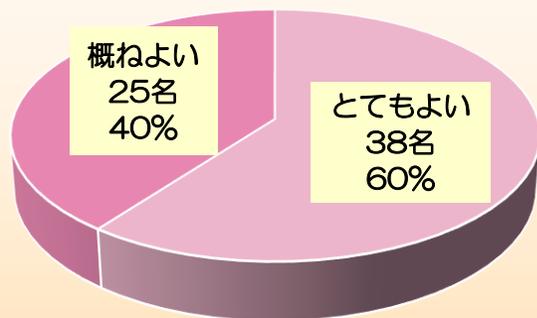


多方面の勉強ができて、今後に向けて大変参考になった

コーディネートや移植までの流れを知り、基礎的理解も深まった

# 第1回 HCTCセミナー アンケート報告 –セミナー全般について–

## セミナーの評価



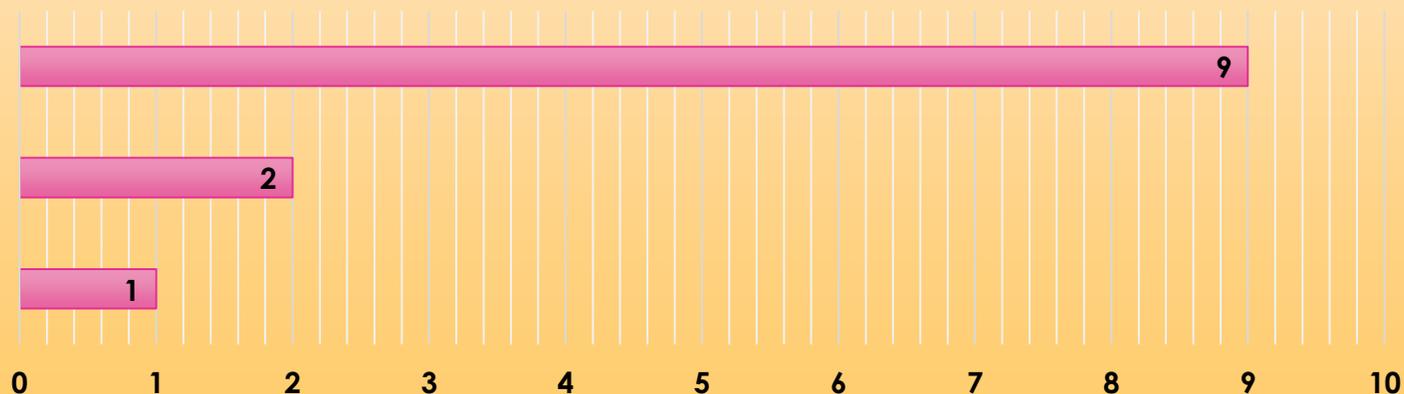
### 【とてもよい】

- 看護師として移植に関わっていると、どうしてもレシピエントのことばかり考えて業務を行ってきたが、あらためてドナーの立場に立っての医療の提供について考えさせられる機会となった。
- とてもわかりやすく丁寧であったため、HCTCの役割を知ることができた。よく理解できた。
- 各講師の話がわかりやすく、ためになるものだった。
- わかりやすく、学びたい内容であった。
- 移植にかかわる、いろいろな職種のお話が聞けて大変勉強になった。
- 経験者の実際の話を知ることができてよかった。実情が理解できた。

多領域からの講師の話がわかりやすく、勉強になった

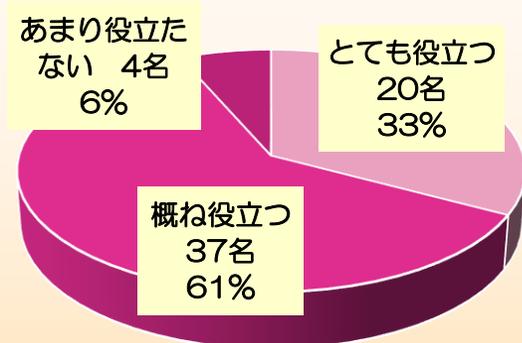
HCTCの理解が深まり、実情を知ることができた

ドナーの立場で医療提供について考える機会になった



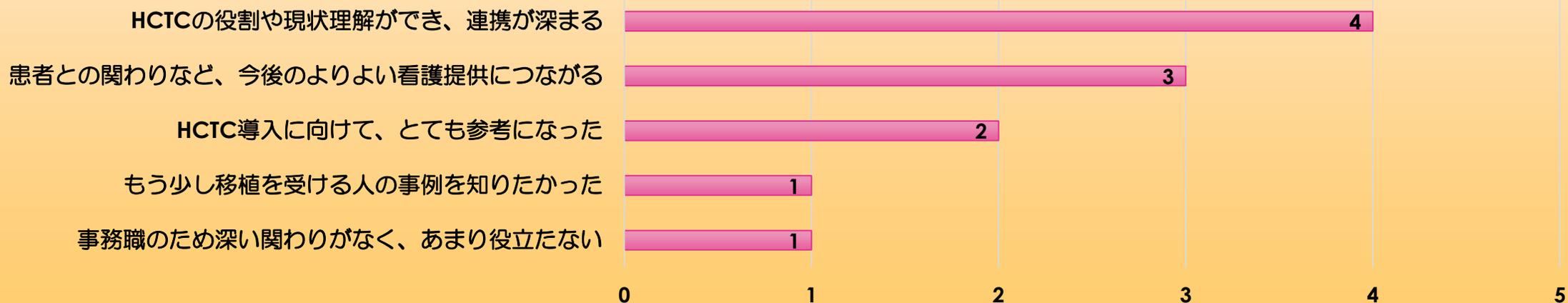
# 第1回 HCTCセミナー アンケート報告 –セミナー全般について–

## 実践への役立ち度



## 【とても役立つ】

- 実務で、HCTCやバンクコーディネーターからドナーの方の情報を受け取り、末梢血幹細胞採取を行っているが、HCTCの調整（個別性のある情報提供）により、アフターケアにおいてよりよい看護を提供できることにつながっていると思う。
- 患者さんに関わらせていただく中で、患者さんの背景など、これからの仕事に活かせたらと思う。
- 現在は血液移植に関わっていないが、移植ドナー・患者への関わり方等は多臓器移植に活かせると思う。
- 当院にはいないが、HCTCの役割が理解でき、連携が強化できると思う。今後ぜひ必要な職種と考える。
- これからHCTCを導入する際のポイントがよくわかった。



## 第1回 HCTCセミナー アンケート報告 ーその他感想、次回セミナーへの要望などー

### 【感想】

- 移植、HCTCの基本から学べてよかった。
- HCTCに関わらず、コーディネーターの役割の重要性を知れた。
- 今後、移植医療を行う予定があるため、参加できてよかった。
- HCTC導入に向けて検討中で、とても参考になった。
- HCTCをやってみたいという方は相当いると思うが、施設の受入体制（求人）がないと手を挙げようがないので、設置環境を各県の施設へ働きかけをしていただきたい。
- 現場の医者や看護師の方々にも、今回のようなセミナーには積極的に参加してもらうことの意義は大きいと思った。
- 会場は快適だったが、椅子が堅くて辛かった。腰が痛くなった。できれば机がほしい。

### 【次回セミナーへの要望】

- LTFUについて。
- 合併症（ヘルペス、出血性膀胱炎など）
- 移植後の経過、GVHDとは、GVHDのケアなど。
- 造血幹細胞移植の移植前オリエンテーションとその必要性。
- 患者サポート。



## 第1回 HCTCセミナー アンケート報告



おかげさまで「第1回中国ブロック 造血細胞移植コーディネーター（HCTC）セミナー」を無事終えることができました。ご出席者のみなさま、関係者のみなさまには心よりお礼申し上げます。

今回、予定者数を30名近く上回り、幅広い職種の方にご参加いただいた大規模なセミナーになりました。多方面の先生方のお話も大変好評で、HCTCについての理解を深められたとの声が多くありました。次回は、アンケートの結果をふまえて、企画していきたいと思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます

造血幹細胞移植医療体制整備事業 事務局

岡山大学病院・造血幹細胞移植推進拠点病院